

## 平成 27 年度 第 3 回土木計画学委員会幹事会 議事録

日時：平成 28 年 3 月 31 日(木) 15:00 ~ 17:30

場所：東京大学 本郷キャンパス 工学部 1 号館 2 階 セミナー室 B

### ■ 出席者

委員長：桑原 雅夫（東北大学）、副委員長：赤松 隆（東北大学）

幹事長：羽藤 英二（東京大学）

学術小委員長：多々納 裕一（京都大学）

春大会運営小委員長：吉井 稔雄（愛媛大学）

委員兼幹事：大沢 昌玄（日本大学）、鳩山 紀一郎（東京大学）、原 祐輔（東北大学）

杉山 和一（長崎大学）、塚井 誠人（広島大学）、長田 哲平（宇都宮大学）

出村 嘉史（岐阜大学）、織田澤 利守（神戸大学）、大西 正光（京都大学）

林 淳二（土木学会）

### ■ 資料

[資料 1] 第 2 回土木計画学委員会幹事会 議事録（案）

[資料 2-1-1] 土木学会計画学委員会運営規則細則 改定案

[資料 2-1-2] 土木計画学研究委員会・学術小委員会・春大会運営小委員会合同打ち合わせ 議事録

[資料 2-1-3] 土木計画学研究委員会・学術小委員会 2016 年度第 1 回委員会議事録

[資料 2-1-4] 秋大会特別論文セッションのスクリーニング・プロセス

[資料 2-2-1~3] 2016 年度春大会（北海道大学）開催校準備状況

[資料 2-3] 2016 年度秋大会（長崎大学）の開催校準備状況

[資料 3-②] 平成 27 年度土木計画学研究委員会名簿

[資料 3-④] ホームページの修正・更新状況

[資料 3-⑥] ワンデイセミナー・シンポジウム

[資料 3-⑦] 国際センター・出版委員会 状況報告

[資料 4] 計画学 50 周年シンポジウム関連行事案

### 1. 開会

- ✓ 桑原委員長より挨拶があった。
- ✓ 資料 1 に基づき、前回議事録の確認が行われ、認められた。

### 2. 土木計画学研究発表会の準備について

- ✓ 多々納学術小委員長から、[資料 2-1-1~4] に基づき、学術小委員会・大会運営小委員会体制への組織再編の内容と移行プロセスについて、
  - ◆ 大会運営小委員会の運営体制は、5 月の幹事会までに提出し、6 月の本委員会にて決定され

る予定であると報告があった。

- ◆ 大会運営小委員会の会計について、春大会・秋大会両会計の統合は、学会事務局としては難しいとの報告があった。また、お財布を今まで通り春大会・秋大会で分ける場合、赤字の可能性のある秋大会財布（秋大会収支+D3 特集号収支）については、春大会財布（春大会収支のみ）が D3 特集号に関する支出を一部負担するしかない、との報告もされた。
- ◆ 秋大会において、ロングプレゼンテーションセッションを試行することが承認された。その上で、上限数に関しては、30 件程度とすることが確認された。また、タイトルは「特別論文セッション」とすることが認められた。
- ◆ 平成 29 年度秋大会の開催校として、岩手大学から内諾いただいたこととの報告があった。
- ✓ 吉井春大会実行委員長から、資料 2-2-1~3 に基づき、春大会（北大）の準備状況について
  - ◆ プログラムもすでに確定しており、50 周年事業イベントのセッションの時間も確保されているとの報告があった。
  - ◆ 企業ブースとして 4 件(1 件あたり 10 万円のスポンサー料)が決定したとの報告があった。
  - ◆ 公共政策デザインコンペへの応募は好調であったが、今回でいったん終了となることが確認された。
- ✓ 杉山秋大会開催校実行委員長から、資料 2-3 に基づき、秋大会（長崎大学）の準備状況について
  - ◆ トータルで 16 室を予約しており、通常必要となるスペースは確保済みであるとの報告があった。
  - ◆ 大会開催校 HP の立ち上げ運営については、多々納学術小委員長が仲介し、前回開催校の資料引き継ぎを依頼することとなった。
  - ◆ 懇親会会場としてグラバー園を確保しており、路面電車をチャーターし、移動手段を確保することが確認された。

### 3. 平成 27 年度幹事担当タスクの検討状況報告

- ① 活動評価・中期目標対応（報告：出村）
  - ✓ 年度明けに活動評価の依頼が来る予定であることが報告された。
- ② 本委員会・全国大会対応（報告：大西）
  - ✓ 資料 3-②に基づき、現在の土木計画学研究委員会の委員構成が確認された。
  - ✓ H28 年度第 1 回の幹事会までに新規委員候補者の内諾を得た上で委員長より報告する方針が確認された。
- ③ 研究小委員会対応  
特になし。
- ④ HP 担当（報告：織田澤）
  - ✓ 資料 3-④に基づき、J-STAGE に未収録の旧委員会論文集について、論文集編集委員会としては J-STAGE に登録せず、論文 PDF が閲覧可能な学会 HP へのリンクとするとの決定がなされたとの報告があった。
  - ✓ 委員会予算で登録する場合は、計画学関係で少なくとも 22 万円の費用が必要になるとの説

明があった。委員会としては、親委員会の予算を充当し、登録する方針が確認された。

- ✓ CMS化については、6月の本委員会を目途に完了する予定であるとの報告があった。多々納氏から、CMS化の重要な機能は、研究小委員会の成果のアーカイブ化であり、各書雲員会に対して宣伝、周知することが重要であるとのコメントがあった。本件については、研究小委員会対応WGが行うことが確認された。
  - ✓ 羽藤幹事長から、wikiのようなシステムも面白いというコメントがあった。
  - ✓ 50周年記念行事については、目立つ形で案内を掲載する方針が確認された。
- ⑤ 国際セミナー（報告：長田）
- ✓ 資料3-⑤に基づき、国際セミナーの開催状況について報告があった。本セミナーは、委員会活動の評価向上に貢献しており、引き続き継続する方針が確認された。
- ⑥ 国際センター・出版委員会（報告：大沢）
- ✓ 資料3-⑥に基づき、国際センター及び出版委員会の活動について報告があった。
  - ✓ 国際センターで土木学会が主催、共催となるイベントの情報を共有して欲しい、との要望あったが、土木学会主催、共催となるようなイベントは相当規模が大きく、実際には難しいとのコメントがあった。また、国際センターは実質的にほとんど機能しておらず、次回の本センターの会合において、情報収集・共有・掲載の仕組みについて提起することとなった。
- ⑦ ワンデイセミナー・シンポジウム（報告：大沢）
- ✓ 資料3-⑦に基づき、ワンデイセミナーとシンポジウムの開催状況について、本年度はセミナーが2件開催されたとの報告があった。
  - ✓ また、ワンデイセミナー実施に関する明確な手続きのフローがないため、現在、フローの策定を進めており、6月の本委員会において諮る予定である。
  - ✓ ワンデイセミナーは、本来、研究小委員会の成果報告として原則実施することになっており、次回の春大会において、実施状況を示す星取表を作成のうえ、企画・進捗状況の報告を各委員長にお願いすることとなった。また、本件は、研究小委員会WGが担当する。
- ⑧ 全国大会研究討論会（担当：鳩山）
- ✓ 50周年記念事業として実施するため、特になし。
- ⑨ 総務担当：（担当：大西）
- ✓ 特になし。
- ⑩ 財務WG（担当：原）
- ✓ 本年度の予算は、すべて使用されたとの報告があった。
  - ✓ 平成28年度の支出計画を春大会までに策定する戸の報告があった。

#### 4. 50周年事業及び今後の運営方針のディスカッション 16:10~17:00

- ✓ 大西幹事長補佐（小林ハンドブック運営小委員長代理）から、土木計画学ハンドブックの進捗状況について説明があり、3月いっばいに原稿が出揃わないと、記念シンポジウムのタイミングに合わせた発刊が難しく、引き続き、皆様のご協力をお願いすることとなった。
- ✓ 原幹事から、資料4-1に基づき、50周年関連行事のプログラム案について説明があった。
  - ◆ 桑原委員長より、概ねの流れについては良いが、記念シンポジウムの最後に森地先生が話す

という部分は違和感があるため、再考した方が良いとのコメントがあった。また、羽藤幹事長、多々納学術小委員長からも同様の見解が示された。

- ◆ コメントをフィードバックした案を 50 周年行事 WG で再検討することとなった。

文責：大西